

台東区 入退院時情報連携シート コラム

令和3年8月号 No. 7

「身寄りがない認知症患者の情報をいち早く知ることができた」



～浅草病院の入退院時情報連携シート活用事例～

患者:80歳代女性 要介護度3

右大腿骨転子部骨折にて救急搬送されましたが、親族がおらず、認知症を抱えていました。しかし、入院時に、ケアマネジャーから連携シートが速やかに提出されたことで、かかりつけ医や訪問看護の情報をいち早く知ることができ、本人の治療経過、サービス状況、社会背景について、医師、看護師、リハビリ科職員など、多職種間で情報共有することができました。

●連携シートは「FAX後に郵送」で

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、連携シートは直接持参していただくのではなく、一度FAXで送信した後に、原本を郵送していただくことを推奨しております。

FAXで情報提供される際は、送信の前に病院に「**FAXを送ること**」を連絡し、送信後には「**FAXが届いたか**」を確認してください。連携シートは、**名前や住所の一部を黒く塗りつぶす**など、個人が特定されないような配慮をお願いいたします。(台東区 入退院時情報連携シート手引き 1頁参照)



浅草病院からケアマネジャーのみなさまへ



今後の退院前カンファレンスについて

現在、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、家屋調査等ができていない状況です。そのため、ケアマネジャーからの家屋環境等についての情報が重要となっています。

当院では、リハ室見学・病室での面会はできませんが、インフォームドコンセント時など、短い時間・少人数であればデイルームなどでご本人の様子を見ていただくことは可能です。

浅草病院 訪問リハビリテーションのご案内 ～食べる・話す をお手伝いします～

当院の訪問リハビリテーションでは、失語症や構音障害によりコミュニケーション力が低下されている方や、食事や飲み物等の嚥下機能低下がある方を支えるために、『言語聴覚士』がご自宅へ訪問し、ご家族やお知り合いの方と、その人らしいコミュニケーションがとれるようお手伝いをさせていただきます。また、肺炎などの予防効果もある口腔ケアなどのご要望にもお答えいたします。当院の訪問リハビリテーションは、言語聴覚士の他に、理学療法士及び作業療法士も在籍していますのでお気軽にお問合せ下さい。



●問い合わせ先:03-3876-1711(内線400) 浅草病院 リハビリテーション科●

(発行) 台東区 健康課 在宅療養連携担当 電話:(5246)1215